



南戸塚中だより

令和4年度 第8号
 令和4年12月16日発行
 学校長 赤堀 貴
 電話 871-7611



今年の～は！～年末恒例、今年の話題～

年末になると、今年を振り返った話題がたくさん出てきます。今年の漢字は「戦」、今年の流行語は「村神様」、今年の人（米タイム誌）は「ゼレンスキー大統領」だそうです。どれも納得です。2023年はどんな年になるのでしょうか。せめて、自分に関する事は、どんな年になるのか、ではなく、こんな年にしようという意気込みでいきましょう。

ラミ

少年時代の思い出です。小雀小学校に通っていたとき、仲良しの同級生の家によくお邪魔して遊びました。その友人宅には広い庭に犬専用にと区切られた場所があり、そこに大きな大きな犬が自由に動き回っていました。名前をラミといいました。種類はシェパードで、警察犬を引退して引き取られたと記憶しています。小学生で、まだ体も小さく、犬に慣れていただけでもなかったため、最初は近づくだけで恐ろしかった。しかし、非常によく人に慣れていて、頭がよく、いつの間にか大好きになっていました。友達と遊ぶより、ラミと遊ぶためにお邪魔している風になっていました。その後どれくらいの期間ラミと遊んだのかは忘れてしまいましたが、楽しい時間でした。



ある日、ラミのいる庭へ行ってみると、いつもならすぐに会いに来てくれるラミが出てきませんでした。友人から亡くなったと教えられました。涙が溢れました。もう、45年以上も前の話ですが、今この文章を書いているだけでも涙が出てきます。今でもラミと遊んだ少年時代の楽しい思い出は、私の財産です。

3年生 英検でも頑張りました

本校では10月8日に英検（実用英語技能検定）一次試験を実施いたしました。原則として3級（文部科学省が目安とする中学校卒業程度の英語力に相当）を受験しますが、準2級、2級を受験した生徒もおりました。一次試験合格者は二次試験（面接）に臨みました。生まれて初めての経験に緊張した生徒もいたようです。令和3年度の文部科学省「英語教育実施状況調査」によると、

タイトル上のメッセージ

今月は、“Yesterday once more.”（イエスタデイ ワンス モア）。訳はYesterdayを過去のある日という意味で使っているので、「あの日をもう一度」という感じでしょう。「若かった頃、よくラジオを聴いたものだった。お気に入りの歌がかかるのを待ちながら。そしてお気に入りの曲が流れると、合わせて口ずさみ、笑顔になった」という歌詞です。今のように聴きたい曲がすぐに聴ける訳ではなく、レコードなども高価でしたので、ただで聴けるラジオが貴重でした。待ち焦がれ、お気に入りの曲がかかった時の喜び、想像できますか。make+人+～で「人を～にさせる」という英語学習でも大事な構文です。

あなたを笑顔にしてくれるものは何ですか。ケーキですか。プーさんですか。金曜日の授業終了のチャイムですか。自分を笑顔にしてくれる何かがあるといいですね。

CEFR A1 レベル（英検 3 級）相当以上を達成している中学生は、神奈川県 40.2%、全国 47.0%、横浜市 54.9%です。

本校 3 年生においては、75.28%となりました。これは 4 人中 3 人が英検 3 級以上を取得していることとなります。（当日欠席者を含めると 72.83%となります。）※下記参照

コロナウイルス感染症の影響により、入学式後の 2 ヶ月は在宅学習、昨年 9 月は分散登校、時期によっては会話や発語の授業を控えるなど、通常よりかなり制限のある中で学習を進めてきた 3 年生ですが、日々の努力が素晴らしい形となり、このような嬉しい結果へつながりました。

国際都市横浜の未来を担う一員として、今後の更なる活躍に期待したいと思います。

参考 令和 3 年度「英語教育実施状況調査」概要

https://www.mext.go.jp/content/20220516-mxt_kyoiku01-000022559_2.pdf

愛川ふれあいの村 ～個別支援級宿泊行事～

11/21・22 の 1 泊 2 日で、3 年ぶりに「戸塚区中学校 個別支援学級 合同宿泊学習会」が行われました。コロナの影響で 2 回中止されていたので、3 年生にとっても初めて出来た行事となりました。出発時は雨が降っていましたが、急速に天気は回復し、最初の活動場所の相模原市南清掃工場に到着したときには雨も上がっていました。平成の初期には学校にも焼却炉があり、放課後掃除を終えると、ゴミ箱を焼却炉に持って行ってゴミを焼いたりしていましたが、今はできなくなりました。工場見学の中で、ゴミを燃やすと有害ガスが発生し、それをまき散らすことになってしまうが、清掃工場では有害物質を除去する設備が整っているなど、実際に見学しながら学ぶことが出来ました。

愛川ふれあいの村に到着した頃には快晴となり、暖かな日差しと美しい紅葉の中、芝生の丘でお弁当をいただきました。入村式の後、諸活動が行われ、自校の仲間はもちろん、他校の生徒とも交流し、絆を深めることができました。この行事の目的であった、「①仲間と協力して班行動をしよう ②身の回りのことは自分でできるようにしよう ③自然の中で元気よく体を動かそう」をしっかりと行えたと思います。大切な思い出が一つ増えてよかったですね。



ふれあいコンサート ～学家地協働事業～

12/3（土）下郷小学校体育館に於いて、南戸塚中学校区 学校・家庭・地域 協働事業「ふれあいコンサート」が今年も開催できました。昨年同様、入場者数を制限させていただきましたが、天気にも恵まれ、小中学生の太鼓やダンス、合唱や演奏などの発表を



児童生徒、保護者、地域の方、教職員らの大きな拍手とともに鑑賞することができました。小学生もこんなに頑張っているんだ、中学生になるとこんなにできるようになるんだという感想が聞かれました。中学校区の子どもたちの交流の機会は、とても有意義であると改めて感じる事ができました。

